

教師が使う I C T 研修 6 (1 部)

共有のために ～考えや工夫の可視化～

やまぐち総合教育支援センター

教師が使う I C T

教師が使うICT研修6「共有のために～考えや工夫の可視化～」というテーマで、ICT機器の効果的な活用について一緒に考えていければと思います。

(★)

研修のゴール

身近にある I C T 機器を利用して、
児童生徒がもつ知識や考え、工夫の
共有を図るための授業づくりについ
て考える。

この研修のゴールは、「身近にあるICT機器を利用して、児童生徒がもつ知識や考え、工夫の共有を図るための授業づくりについて考える。」です。

(★)

共有によって

「他者の知識や考え、動作の工夫を見せることで、
自らの振り返りや改善につながる」



教師の働きかけが**学びの質を高める**

やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

まず、知識や動作の工夫は、情報として共有することができます。

(★)子どもたちは、他者の知識や考え、工夫に触れることによって、自分の考えを見直し深めていくことができます。

そのとき、単なる情報交換ではなく、自分と他者の考えを相互に関連付け、より質の高い考えへと再構築していくためには「共有」という考え方が必要になります。

(★)知識や考えを共有することに対して、ICT機器を活用した教師のサポートが入ることで、学びの質を高めることができます。

(★)

共有ポイントを記録する



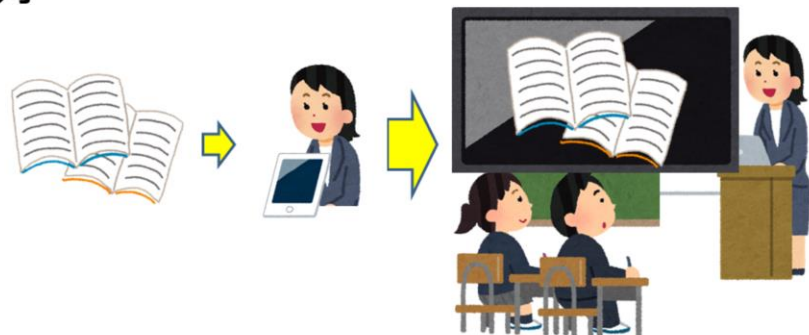
様々な学びの場面から共有させたいと思うポイントを記録する

やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

授業において、子どもたちの知識や考え、動作の工夫を共有する方法として、
(★)教師が、子どもが書いたノートや手本となる動きをその場で写真や動画で撮ることで、参考にしてほしい考えや動きを記録することができます。
(★)

知識や考えの共有を促す I C T 機器の利用 例



やまぐち総合教育支援センター

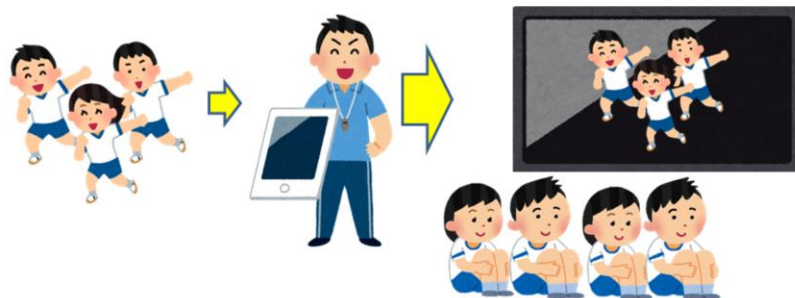
教師が使う I C T

そして、ICT機器を活用することによって、より効率的かつ効果的に共有を促すことができます。

(★)先ほど記録したノートなどは、電子黒板などのICT機器を使って紹介することで、知識や考えの共有を促すことができます。

(★)

動きに関する工夫の共有を促す I C T 機器の利用 例



やまぐち総合教育支援センター

教師が使う I C T

動きに関する工夫では、

(★)動画で記録した動きを、電子黒板などで提示しながら説明を加えることで、他の子どもたちに共有させることができます。

(★)

知識や考え、工夫の共有を図るために



I C T 機器利用のメリット

- 視覚的効果が大い
- 繰り返し視聴が可能
- 授業への参加を促す
- 教材を共有できる

やまぐち総合教育支援センター

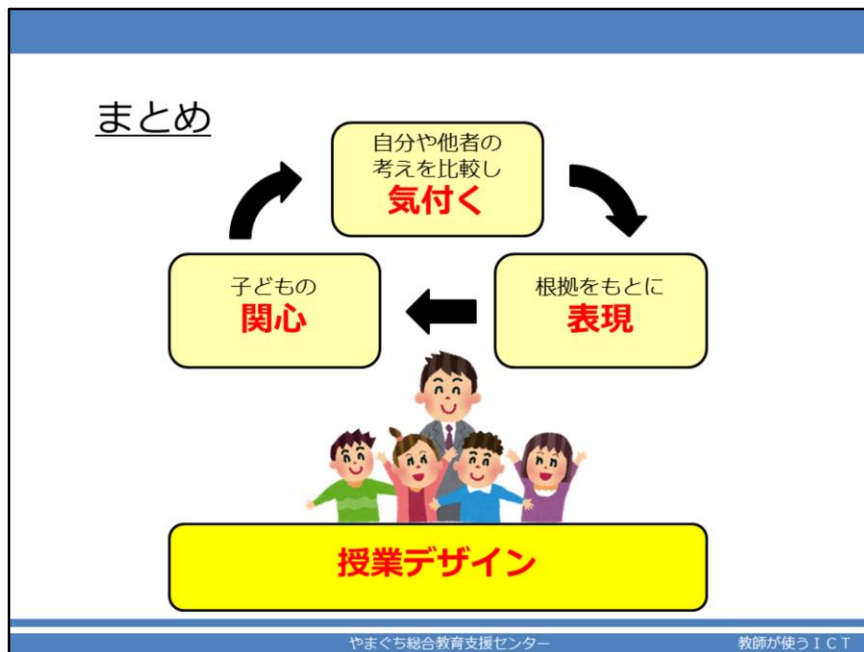
教師が使う I C T

このように、子どもたちのもつ知識や考え、工夫の共有を図るために、ICT機器を活用することで、視覚的・操作的に効果と効率が高まると考えられます。

ICT機器を活用するメリットとしては、視覚的効果が大い、繰り返し視聴が可能、授業への参加を促すことがあげられます。

(★)そして、教師にとっても、先生同士で共有し利用できるというメリットがあります。また、共有したデータは、教材として使うこともできます。

(★)



まとめです。子どもたちがもつ知識や考え、動作の工夫について、ICT機器を使って「共有」を図ることによって、子どもたちの理解や学びの質を高めることができます。

しかし、その根底には、教師の明確な授業デザインが必要です。

(★)ICT機器で他者の知識や考え、動作の工夫を見せることで、子どもたちの中に「気付き」が生まれ、

自分を振り返りながら自らの「表現」を工夫するようになり、

「分かる自分、できる自分」の発見から、「関心」が高まるという学びのサイクルが円滑に進むよう意識して授業をデザインしましょう。

(★)

2部では、子どもたちがもつ知識や考え、動作の工夫の共有を図るために、ICT利用による「共有させたいこと」を盛り込んだ授業づくりを考えるワークショップをしていきましょう。

それでは、2部では、子どもたちがもつ知識や考え、動作の工夫の共有を図るために、ICT利用による「共有させたいこと」を盛り込んだ授業づくりを考えるワークショップをしていきましょう。

(★)